

5 地域社会と連携協働する授業

今年度は、地域社会をもう一つの教室と捉え、地域を知る・学ぶ取組、将来の生活の質を高めることにつながる取組や、障害のある児童生徒の理解を地域に広げる取組を、積極的に行ってきた。また、地域社会の方々との活動を重ねることで、活動の目標を知っていただく機会も増え、学校教育の目的とするところを地域社会の方々にも、知っていただくことができた。地域社会の方々に、子ども達が学んでいる様子を側で見ていただき、学びの意図を知っていただくことで、学校教育を学校内だけで閉じずに、教育の目的とするところを地域社会と共有・連携しながら授業実践へとつなげることができた。

子ども達と直接関わる授業や教材連携、指導者との連携等に関わっていただいた方々にインタビューし、地域社会と連携協働する授業を行う地域社会の方々の率直な声を聞かせていただいたその結果を「特別支援学校の子ども達とはじめて出会う」「一緒に活動することをとおして」「喜びをともにする授業」の三つにまとめた。

(1) 特別支援学校の子ども達とはじめて出会う

ア 小学部生活単元学習「畑の学習」

(学校ボランティアの会 様)

校内学級菜園での活動を行う際、小学部低学年の児童 15 人が学校ボランティアの方が、鍬を使って畑を耕しているところを見せていただき、道具の使い方を教えてもらいながら一緒に畑を耕し、冬野菜の種まきを行った。鍬で耕す迫力を間近で感じ取っていた子ども達からは、畑作業に興味関心が広がっている様子が見られた。収穫後には、お手伝いいただいた方々をお招きし、調理した味噌汁を召し上がっていただいた。



向日が丘の子ども達とはじめて出会う、どんなことを感じられましたか？

「あんまり…子ども達のことって、今まで経験したことがない、想像もできなかったですけどね。わりとおとなしくやってくれた、そういう感じはします。」

「はじめてのケースなので、どうかな…って、ちょっと気になっていたんですけど、わりと落ち着いてやっていたので、よかったんじゃないでしょうか。」

イ 小学部生活単元学習「9組報道局」

(乙訓消防組合長岡京消防署 様)

消防署での庁舎見学、車両見学を行う際、小学部の児童5人が、当日に向けて質問の仕方等を学習し、消防庁舎の見学と消防署員の方々へのインタビューを行った。それぞれ役割を分担したり、声の大きさを考えたりして、当日は児童が自信をもってインタビューをすることができた。



向日が丘の子ども達とはじめて出会ってどんな印象をもたれましたか？

「僕は、向日が丘支援学校さんとは（児童生徒と出会うのは）はじめてだったんです。もっと言うこと聞かずに走り回ったりするのかなという印象だったんですけども、全然そういう心配もなく落ち着いていて、いろんなことに興味をもっていたのかなという風に感じています。」

「僕もはじめてだったんですけども、非常に素直で先生の言うことしっかり聞いているなという印象を受けました。また、伝え方を先生の方から学ばせていただきました。」

(2) 一緒に活動することをおして

高等部作業学習「お役立ち活動」

(花いっぱいボランティア 様)

令和元年6月から作業学習として、「花いっぱいボランティア」の作業をお手伝いさせていただいている。ボランティアの方々に作業の指示を受け、自分自身がわからないことを質問し、生徒達が少しずつ積極的に動けるようになってきた。



活動し始めた頃の生徒達は、どんな様子でしたか？

「最初はみんな緊張していたけれど、徐々に積極的になってきています。指示を仰ぐにしても、初めは固まってしまっていたような子達も、ちゃんと確認をとってくれるようになっていきます。暑かったり、虫に刺されたり、いろいろその辺も大変だけど、よくやってもらって大変助かっています。」

生徒と一緒に活動する中で、意識されたことはありますか？

「ついつい『それ』『あれ』とかっていう会話しか、日常ではしなくなっていたけれど、考えたらはじめての子ども達にはわからんわな、と思って具体的な方で伝えました。するとすぐに動いてもらえたので、この子らはやる気をもって来てくれているのが確信できました。なるべくそういう風に言うようにしています。」

「一つ一つ、その生徒に向かって説明をしないと、自分に言われているんじゃないみたいな感じで取らはんのかなっていうのがわかってきたので、できるだけお名前呼んで話しています。そうすると自分がしなきゃいけないっていうのが伝わりやすいのかな、というのが最近わかってきました。」

活動することをおして、御自身の中で変わってきたことありますか？

「なにより、こちら側もやる気が上がってきて、やっている作業は同じでも楽しくなってきたかな。草抜きも悶々とするよりも、みんなでやったらなんか楽しくできるようになったのでそれはいいかなと思っています。」

(3) 喜びをともにする授業

ア 高等部作業学習「竹箸づくり」

(高野竹工株式会社 様)

治具を使い、作業学習で竹箸づくりを行っている。手先に力を入れている生徒を見て「かんな削りの音を聞くように」等、アドバイスいただくことで、目先にとらわれていた生徒の作業の視点が変化していった。紙やすりで整える技術を間近で見せていただくことから生徒達の気持ちも引き締まり、本物の技術を自分の目で見る意義の大きさが感じられた。



「竹箸づくり」から卒業後の生活に向けて

「世の中に必要とされて、自分がここにおいて、やっていけばいいんだよということがわかれば、人生ってどれだけ楽しいかなと思っています。ほんとに子ども達とか先生達とか、子ども達のお母さんとかみんなが、自分が作ったものや、お父さんの箸だからとか、お母さんの箸だからとか、自分が作ったものを意識し、そういうことで喜びあって、物作りができればいいのかなと思っています。」

イ 小学部遊びの指導・中学部生活単元学習「たけのこ掘り」
(長岡京市環境の都づくり会議 様)

小学部 45 人(中学部 22 人参加予定、雨天中止)が近隣の竹林でたけのこ掘りを行った。たけのこを素手で掘ったり、たけのこを左右に動かしたりしながら抜こうとしている子ども達の姿や、自ら手を引いて環境の都づくり会議の方を呼び「ここ」と伝える姿が見られた。



ウ 小学部遊びの指導「竹であそぼう～水遊び～」
(長岡京市環境の都づくり会議 様)

小学部の児童 45 人が、中庭に設置した大掛かりな竹のシャワーを浴びたり、竹の桶にボールを転がしたりしてダイナミックな仕掛けの中で積極的に遊ぶ様子が見られた。また、水鉄砲の使い方を教えてもらったり、水に流すボールをもらったりして、児童が熱中して活動できている様子が見られた。

エ 中学部生活単元学習「竹切り体験」
(長岡京市環境の都づくり会議 様)

中学部の生徒 5 人が地域の方々についてもらいながら、のこぎりを使用し、一人 1 本の竹を切り倒すことができた。竹が倒れる時の音を聞き、竹の倒れる実際の迫力を感じていた。達成感を感じた生徒自身が「もっとやりたい」と感じている姿が見られた。

オ 小学部生活単元学習「名探偵ヒライ」
(長岡京市環境の都づくり会議 様) 教材提供連携

学校祭で使用するバンブーダンス用竹の教材提供。指導者がイメージ図等を準備し、事前に竹林へ伺い、竹の太さ等のイメージを共有させていただいた。竹の音が良くなるように、切り倒してから 1 か月は竹林内で乾燥させていただいた。

カ 中学部生活単元学習「カラピタヤさん」
(長岡京市環境の都づくり会議 様) 教材提供・教材研究連携

学校祭のクラスコーナー発表で使用する竹装置の教材提供と指導者への技術提供。指導者がイメージ図等の資料を準備し、事前に竹林へ伺い、竹の太さやイメージを共有させていただいた。後日教室にて指導者と合同で設置に関わっていただいた。



向日が丘支援学校と関わっていただけるようになった経緯を教えてください。

「私達は今まで、放置竹林中心に活動してたんですが、それだけでは物足りないしね。何か地域に貢献できたらということで、向日が丘支援学校の子供達と関わってきたわけです。」

教材として竹装置などを作るときのお気持ちを教えてください。

「日頃、おもちゃのようなものを作っているんです。今回、前回と竹での工作物を作っていますけれども、それなりに大人のアイデアですが、盛り込まれている知恵を少しでも、子供達に知ってもらえたらいいかなと思っているんです。」

「私は子供達がみんな喜んでくれたらそれが最高の喜び、私にとって最高の喜びです。だからみんなが喜んでくれるんだったら何でもしたいです。その喜びがほしいだけです。何でも作るのが好きで、たまたま竹林の仲間に入らせてもらって、子供達とのつながりも作ってくれはったから、私にとっても最高の喜びです。私の方が感謝しております。」

「こうやってブルーシート敷いてやったりすることが、子供達が喜ぶんちゃうかなと思ったりしてね。それだけのことです。僕らもみんな一緒やけど、たった一人の子が良かったな、嬉しかったな、楽しかったな、そう思ってもらえたらそれだけで嬉しい。それ以外には何にもないです。」

「特別支援学校の子ども達とはじめて出会って」のインタビューでは、地域社会の方々からは「わりと」「意外と」といった意味の言葉が多かった。私達教員が当然と思っていることと地域社会の方々がイメージしていることに隔たりがあると、次の話の土台がずれてしまう。私達教員が忘れずにいたい声であった。また、実際に子ども達と出会ってもらうことで特別支援教育についての理解が広がった。

「一緒に活動することをとおして」のインタビューでは、連携協働していただいた地域社会の方々に、子ども達の活動にねらいがあることを知っていただき、目指す方向を一緒にすることが大きなポイントとなり、その成果を聞くことができた。

「喜びをともにする授業」のインタビューでは、何度も向日が丘支援学校の子ども達と関わっていただいていることもあり「喜び」という言葉が多く聞かれた。すでに子ども達を知っていただいていることから、喜びを共有するに至ったと考えられる。

この2年間「地域社会をもう一つの教室と捉え」学校内に閉じず地域と連携しながら、様々な豊かな教育活動を展開した。学校外に展開する場合もあれば、学校内に様々な要素を引き込みそこで作っていく実践もあった。子ども達にとって難しかった課題も、地域との関わりの中からは乗り越えることができるケースも見られている。

学校内だけでは作りきれない関係の中からは、子ども達自身が学び、支援を受ける側であった子ども達が、相手の立場に立ち、地域社会で社会貢献につながる活動を展開している。地域社会の方々から、今もっている力を認められることにより、子ども達自身のものごとへの向き合い方が変化してきた姿に、私達は学級だけではできない地域社会の力を実感している。そこには学びに向かう力や、友達と協力する力や、それらを刺激するための地域資源があり、それらが一体となって子ども達を成長させていく。子ども達の育ちや地域社会の方々との活動する価値、そしてお互いの価値を見出していくこと、これらのことから、地域社会の方々の意識も不安から喜びに変化した。

障害のある児童生徒の能力や可能性について共感的な理解が少しずつ地域社会へと広がり、教育の目的とするところを共有し、喜びをともにする授業が実現してきている。「地域社会をもう一つの教室」と捉えることは、向日が丘支援学校の子ども達が、卒業後に共生社会の一員として豊かな人生を送ることにつながるだろう。

【インタビューさせていただいた地域社会の方々】

『学校ボランティアの会』

長岡京市の小学校で畑作業を中心にボランティアをされている団体。小学校の教育活動で使用する畑を耕すことや「ツルものの棚設置」等の下準備等を行っている。また花壇の整理や野菜の栽培も行い、収穫された野菜は給食の材料となることもある。

『乙訓消防組合長岡京消防署』

本校より 20 分ほどのところに位置する近隣の消防署。長岡京消防署は、ポンプ車や 35m のはしご車をはじめ水槽車、救助工作車等 6 台の消防車と 1 台の救急車が配備されている乙訓消防組合内で最も大きな消防署である。

『花いっぱいボランティア』

近隣の小学校である長岡第三小学校で花壇の整備を中心とする農園芸を行っておられるボランティア団体。花壇やプランターに花を植え、水やり等の活動を行う。また例年卒業式には、種から栽培したビオラの鉢植えを卒業生一人一人に贈っている。

『高野竹工株式会社』

高野竹工株式会社は長岡京市に工房を構えている竹芸品、華・茶道用品等の製造卸の会社。茶道具から日用品まで様々な商品の製作をされ、京都迎賓館の調度品も納められている。本校には竹箸の材料を提供していただき、「竹箸づくり」では講師として助言等をいただいている。

『長岡京市環境の都づくり会議（竹林再生プロジェクト）』

長岡京市環境の都づくり会議は、『長岡京市環境基本計画』が策定された平成 14 年に結成された市民団体で 7 つのプロジェクトに分かれ活動されている。その一つである「竹林再生プロジェクト」では放置竹林を中心に市内で活動をされ、本校には 2 年前の「たけのこ堀り」から、多くの活動に協力いただいている。

令和元年度 地域社会連携部連携状況

クラス	授業	内容	連携先
小学部	遊びの指導	「たけのこ掘り」	長岡京市環境の都づくり会議
小学部	遊びの指導	「竹であそぼう～水遊び～」	長岡京市環境の都づくり会議
小学部	生活単元学習	「名探偵ヒライ」【教材提供連携】	長岡京市環境の都づくり会議
小学部	生活単元学習	「畑の学習」	学校ボランティアの会
小学部	生活単元学習	「9組報道局」	乙訓消防組合長岡京消防署
小学部	生活単元学習	「みんなでゴール」	LLGGC
小学部	音楽	「ゴスペルを聴こう」	マザーグレース
小学部	生活単元学習	「地域を探検しよう」	乙訓消防組合長岡京消防署
中学部	生活単元学習	「たけのこ掘り」	長岡京市環境の都づくり会議
中学部	生活単元学習	「西国街道歩き」	神足くらしランブ
中学部	総合的な学習の時間	「しゃぼん玉に入ろう」 【教材研究連携】	京都市青少年科学センター
中学部	生活単元学習	「竹切り体験」	長岡京市環境の都づくり会議
中学部	生活単元学習	「カラピタやさん」 【教材提供連携・教材研究連携】	長岡京市環境の都づくり会議
中学部	生活単元学習	「買い物学習」	乙訓もも 駄菓子屋
中学部	生活単元学習	「高校生になろう」	NPC長岡京写真クラブ
中学部	生活単元学習	「メッセージカードをつくろう」 【教材提供連携】	乙訓若竹苑・高野竹工株式会社
中学部	生活単元学習	「乙訓地域を調べよう」	国登録有形文化財中小路家
中学部	生活単元学習	「ニコニコ工房Ⅱ」	五十棲富三商店
中学部	生活単元学習	「中5カフェ」	カフェエボカ
中学部	生活単元学習	「中5製パン」	乙訓ひまわり園
中学部	生活単元学習	「自分の良さを知ろう」	日本自立生活センター
中学部	生活単元学習	「自分の良さを知ろう」	京都太陽の家
中学部	生活単元学習	「自分の良さを知ろう」	なかの邸
中学部	生活単元学習	「高校生になろう～職場体験をしよう」	乙訓もも 駄菓子屋
高等部	作業学習	「広告回収」【教材提供連携】	イズミヤ長岡店・フレンドマート長岡京店
高等部	作業学習	「竹箸づくり」【教材提供連携】	高野竹工株式会社
高等部	生活単元学習	「カフェを開こう」	Unir SPECIALTY COFFEE
高等部	作業学習	「木工」【講師】	安川様（長岡京市）
高等部	作業学習	「お役立ち活動」	花いっぱいボランティア
高等部	作業学習	「竹箸づくり」【講師】	高野竹工株式会社 西田様
高等部	作業学習	「消臭剤づくり」【教材提供連携】	コンビニエンスストア（長岡京市）
高等部	生活単元学習	「空き缶回収」	乙訓若竹苑
高等部	特別活動（クラブ活動）	「卓球バレー練習」	向日市身体障がい者協会
高等部	生活単元学習	「むこフェスにむけて」	ダックス
高等部	生活単元学習	「作品展にむけて」	乙訓若竹苑